

平成30年度連携協議会事業報告

本協議会は、産学官の連携により、未来の氷見市に向けて、地域課題を解決し、様々な分野での成長の基盤を確立して、地方創生のモデルとなるような取り組みへと発展させ、氷見市から日本の農林水産業及び地域を進化させていくことを目的としている。

平成30年度は、産業の振興、富山県立氷見高等学校における教育の活性化、氷見市民の生涯学習の推進のため、以下の事業に取り組んだ。

主な活動内容

月 日	活 動 内 容	摘 要
9月25日	氷見市・名城大学農学部連携協議会設立総会	氷見市いきいき元気館
9月25日	氷見市・名城大学農学部連携協議会理事会	氷見市いきいき元気館
11月12日 ~11月13日	名城大学農学部礒井教授による現地調査	長坂地内他
11月12日	自然農栽培セミナー 講師 名城大学農学部 礒井 敏行 教授	氷見市役所
12月11日	氷見市・名城大学農学部連携協議会 連携授業 「食べ物でガンは予防できるか」 講師 名城大学農学部長 小原 章裕 教授 農業科学科2年生19名	富山県立氷見高等学校
12月11日	名城大学農学部と富山県立氷見高等学校との共同研究 「イノシシ肉カレーの開発に関する指導」 講師 名城大学農学部長 小原 章裕 教授 農業科学科3年生6名	富山県立氷見高等学校
1月19日	氷見市・名城大学農学部連携協定締結記念講演会 演題「ニュースから世界と日本を考える」 講師 名城大学 池上 彰 教授 市民 350名	氷見水産センター
3月13日 ~3月14日	富山県立氷見高等学校農業科学科・名城大学農学部 連携教育活動 イノシシ肉の加工、大学施設見学 農業科学科2年生5名 教諭1名	名城大学農学部
3月26日	名城大学農学部連携講演会 演題「食生活でガンの予防を目指して」 講師 名城大学農学部長 小原 章裕 教授	氷見市いきいき元気館

令和元年度 氷見市・名城大学連携協議会事業報告

開始		終了		区分	内容
月	日	月	日		
5	13			総会・幹事会等	理事会・総会・意見交換会の開催
5	24	5	25	産学官の連携による産業起こし	棚田を活かした産業づくり開発研究 ・内容 前夜祭（オーナー、椿衆との懇親会） 田植え体験 集落外から都市農村交流に参加される方へのアンケート調査 棚田オーナー・地元椿衆等との交流 ・参加者 平見准教授 名城大学農学部生 5名参加
5	29			名城大学農学部と富山県立氷見高等学校との共同研究等	出前講座 ・テーマ 「お肉はもともと筋肉だった！？ ～ハム・ソーセージが固まる仕組み～」 ・講師 名城大学農学部教授 林 利哉 ・受講者 氷見高校農業科学科3年 ・人数 19人 ・場所 氷見高校農業実習棟 農業実習室（2階）
5	29	5	29	名城大学農学部と富山県立氷見高等学校との共同研究等	共同研究 ・内容 イノシシを軟らかくする方法 イノシシ肉の硬度測定の方法 ・講師 名城大学農学部教授 林 利哉 ・受講者 氷見高校農業科学科（食品製造専攻）3年 ・人数 6人 ・場所 氷見高校農業実習棟 農業実習室（2階）
7	25			産学官の連携による産業起こし	植物工場分科会 ・出席者 J F Eエンジニアリング 金原氏、坂根氏 北陸電力株式会社高岡支店 塚田氏、田淵氏、高木氏 氷見市 高橋政策統括監、高野地方創生推進課長、 尾山課長補佐、田邊主査、中野主任 ・内容 J F Eの温室でのトマト栽培の現状（規模、収支等） 氷見市内での適地候補地（3ha以上）
8	28			産学官の連携による産業起こし	名城大学農学部平見准教授によるヒアリング ・出席者 名城大学農学部 平見准教授 氷見市長坂区長 藤井氏 氷見市地方創生推進課 高野課長、農林畜産課 田町 ・場所 氷見市役所302会議室
9	10			産学官の連携による産業起こし	新たな農業の研究指導等及び自然栽培マニュアルづくり等（教授等旅費、研究材料費、消耗品費等） 自然栽培セミナー ・講師 名城大学農学部礪井教授 ・受講者 20名 ・内容 土壌成分にあった作物の栽培や、作物を栽培することで起きる土壌成分の変化、雑草と土壌の関係について
9	10	9	10	産学官の連携による産業起こし	新たな農業の研究指導等及び自然栽培マニュアルづくり等（教授等旅費、研究材料費、消耗品費等） 自然栽培に関する現地調査 ・参加者 名城大学農学部礪井教授 名城大学農学部生（4年生3名） （合）NICEFARM 廣氏 ・場所 長坂地内の自然栽培の畑 ・内容 土壌中の窒素、リン酸、カリウム、伝導率、根粒菌等を調べるため4～5か所の畑で土壌サンプルを収集した大学に持ち帰った
9	27	9	28	産学官の連携による産業起こし	棚田を活かした産業づくり開発研究 ・内容 前夜祭（オーナー、椿衆との懇親会） 稲刈り体験（開始式司会） 集落外から都市農村交流に参加される方へのアンケート調査 棚田オーナー・地元椿衆等との交流 ・参加者 平見准教授 名城大学農学部生 12名参加

11	27			産学官の連携による産業起こし	氷見の農業や参画企業の課題について名城大学農学部准教授との検討会により意見交換、助言を受ける	<ul style="list-style-type: none"> ・内容 氷見市での農業に課題 ハトムギの連作による収量減、ネギの連絡対策、 ワインブドウの病気対策、花の土壌管理など 氷見での農業振興作物の開発 附属農場視察 ・参加者 名城大学農学部 中尾義則准教授（果樹）、 森田隆史准教授（蔬菜）、森田裕将准教授（花卉） 名城大学社会連携センター福井博泰課長 名城大学経営本部アドバイザー中井剛 坂根清一（㈱J E F エンジニアリング富山支店長） 高野弘文、中野隆介（氷見市地方創生推進課）
12	11			産学官の連携による産業起こし	名城大学農学部等での市民向け農業に関する実践講座	<ul style="list-style-type: none"> ・内容 名城大学農学部の磯井教授が関わる自然栽培に取り組む農園に出向き、畑の状況等を確認し、自然栽培のポイントや販路、経営等について意見交換し、アドバイスを受ける。 ・場所 農業生産法人みどりの里（豊田市） ・参加者 自然栽培関係者 15名
12				産学官の連携による産業起こし	植物工場での試験栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・内容 人工光を用いた完全閉鎖型の植物工場での試験栽培による植物の効率的な栽培技術の研究 ・委託先 三協立山（株） ・委託期間 令和元年12月から令和2年3月
3	6			産学官の連携による産業起こし	打合せ（オンライン）	<ul style="list-style-type: none"> ・内容 松本魚問屋の取り組む事業について、具体的な連携へと繋げるための意見交換を実施した。 ・場所 氷見市役所 センター ・参加者 社会連携センター、学術研究支援センター （有）松本魚問屋 専務取締役 松本 幸一郎

令和2年度連携協議会事業（予定）

主な事業

（１）自然栽培講習会・マニュアルづくり

近年、若い世代を中心に支持されている自然栽培の講習会を開催し、技術の習得を図るとともに、農業所得の向上や耕作放棄地の再利用等につなげます。

また、自然栽培における土壌成分などを学術的に調査し、栽培を支援するマニュアル作りに取り組みます。

（２）氷見産農産物による6次化商品づくり

商品にならない農産物の有効利用により収益の向上を図るため、大学の知見や学生のアイデアを生かした加工品づくりに取り組みます。

（３）氷見高校での加工品づくり

氷見高等学校が名城大学農学部の協力のもと開発しているイノシシ肉を使った加工品の商品化や新たな試作品づくりに取り組みます。

（４）棚田を活かした産業づくり開発研究

名城大学農学部の学生等が長坂の棚田オーナー事業の取り組みを体験するだけでなく、参加者にアンケートを行い、棚田の魅力を活かした地域の活性化などを調査、研究します。

（５）出前講座・指導等

名城大学の教員が市民や氷見高等学校の生徒に講義を行うことで、学術的な面からの理解を深めます。